

ライン川中流の船

会員 福富 廉

マイヤーベルフト見学の後、最終的にはオクトーバフェストが開かれているミュンヘンまで行く計画で、途中、コブレンツからリュエデスハイムの中のライン川周辺を観光した。ツアー等では必ず立ち寄る地域だが、様々な船が行き来しており、その周囲は古城が点在し、いたるところにブドウ畑（この付近は、ドイツの13 ワイン銘醸地のうちのミッテルライン、モーゼル、ラインガウ、ナーエ、ラインヘッセンが連なっている）が見え、素晴らしい景色とともにシップウォッチングを楽しんだ。ここでは、船の種類別にレポートする。

1. 外輪船「GOETHE（ゲーテ）」

KD LINE（次章参照）が運航する1913年就航の外輪蒸気船（現在はディーゼル）、この地域ではもっとも有名な観光船だ。4～10月は、通常、コブレンツを朝の9時に出港し色々な港に寄り



コブレンツに停泊中（休航日）後ろはエレンブライツェル城塞



同左



ニーダーヴァルト展望台(P.5)付近からビンゲン駅手前を望む



ローレライの崖の上（公園）から



ナーエ川（左奥）との合流点、対航船は「BINGEN」
エレンフェルス城（左）とねずみの塔（対岸）



同上、数分後 向こうから遊覧船「GODSBURG」

ながらライン川を遡ってリュードスハイム着が 15 時 15 分、折り返しが 16 時 15 分発で川を下って 20 時にコブレンツに帰着する 1 日 1 往復の航程。1 日中走っているのに、あちらこちらで目にすることができた。

2. 遊覧船

この付近の遊覧船は、KD LINE(ケルン・デュッセルドルファー・ドイチュェ・ラインシファールト GmbH、以下 K 社)、ローレイ・ライン (以下 L 社) とビンゲン・リュードスハイマー・シフファールツゲゼルシャフト (以下 B 社) の 3 社の他、色々な会社が運航している。この付近の主な港は上流からマインツ～リュードスハイム～ザンクトゴア～コブレンツとあるが、K 社はほぼ全域に加えてコブレンツからモーゼル川への航路もある。一方、L 社、B 社は主にリュードスハイム～ザンクトゴア間を運航しているが、B 社は渡し船的要素も有り、また、後述のビンゲン～リュードスハイムのカーフェリーも運航している。

我々は K 社の船でリュードスハイムからザンクトゴアまでの下りの遊覧を楽しんだが、団体を含め多数の乗客が乗っており、途中からは遠足の小学生が乗ってきたり、往復乗船する人達もかなりいたようだ。この間はリュードスハイムから隣のアスマンスハウゼンに至るブドウ畑の景色が素晴らしく、古城が点在し、何と言っても Z 字型に航行するローレイの景色も見事だった。ちなみに、スイスもそうだったが、1970～80 年代頃、この地域にも日本人が押し寄せていて、日本語表記があちこちで見られたが、船内でもドイツ語、英語に交じって日本語の船内アナウンス (テープガイド) があったのにはビックリした。一方、街でも中国語の表記はほとんどないか、日本語より少ないと思った。



MERKELBACH 「DEUTSCHES ECK」コブレンツにて



HÖLZENBEIN 「RHEINGOLD」ザンクトゴアにて



「RHEINGAU」アスマンスハウゼンにて
背後は有名なワイン用ブドウ畑



「ST. NIKOLAUS I」アスマンスハウゼンにて



KD LINE 「ASBACH」 ザンクトゴアにて



KD LINE 「BOPPARD」 ザンクトゴアにて



KD LINE 「GODSBURG」
ローレライの崖の上 (公園) にて



LORELEY LINE 「LORELEY ELEGANCE」
ザンクトゴアにて



LORELEY LINE 「LIEBENSTEIN」
ザンクトゴアにて



LORELEY LINE 「LORELEY STAR」
ビンゲンにて



BINGEN-RÜDESHEIMER 「BINGEN」
ビンゲンにて



BINGEN-RÜDESHEIMER 「EHRENFELS」
リュースハイムにて

3. クルーズ客船

「世界の船旅」等の番組で良く知るようになり、ロッテルダムやアムステルダムでも数多く見たが、この付近を航行するのが中心だろう。長さと幅の比が 10 以上でそれぞれの船内配置も似かよっているようだが、様々なデザインで見ても飽きなかった。



CROISIEUROPE 「LAFAYETTE」ドイツ船籍
ローレライ手前のオーバーヴェセル付近にて



NICHO CRUISES 「RHEIN MELODIE」
ドイツ船籍 コブレンツ・モーゼル川にて



VIKING RIVER CRUISES 「VIKING GERSEMI」
スイス船籍 コブレンツにて



AMAWATERWAYS 「AMAMORA」
ザンクトゴアにて



「VISTA RIO」スイス船籍
リュエデスハイムにて



「PRINS WILLEM-ALEXANDER」オランダ船籍
ザンクトゴアにて



「VISTA SKY」スイス船籍
ザンクトゴアにて



CROISIEUROPE 「LA BHEME」 ドイツ船籍
ザンクトゴアにて



「TRAVELMARVEL VEGA」オランダ船籍
ザンクトゴアにて



SCI SWISS CRUISES 「NESTROY」(奥 スイス船籍)
と「GOETHE」 リューデスハイムにて



NICHO CRUISES 「RHEIN SYPHONIE」
ドイツ船籍 リューデスハイムにて



「VIVA MOMENTS」と貨物船「MAINPLUS」
リューデスハイムにて (奥上はニーダーヴァルト記念碑/展望台)



AVALON WATERWAYS 「AVALON PANORAMA」
ビンゲンにて

4. 渡し船／フェリー

ヨーロッパの川にはあまり橋が無い。先の外輪船「ゲーテ」の走るライン川のコブレンツ～リューデスハイム間からその先まで、コブレンツ近くに2つの橋があるだけで、約70～80km位に渡っては橋が無い。B社の遊覧船は渡し船要素があると述べたが、他にコブレンツに旅客のみの渡し船が1つ(橋の傍だが)と、この間に5か所ほどカーフェリー航路があるようだった。カーフェリーは何れも片側だけに操舵室と客室があるオープン型の両頭船、ランプドアの開閉はほとんど無く、係留索も無く、ただ、乗ったフェリーでは船首尾の両側に鉄製のピンがあって、栈橋の穴にストンと落として船を固定していた。



ローレイ・フェリー「LORELEY VI」ザンクトゴア〜ザンクト・ゴアハウゼン 徒歩客1人2.5ユーロ



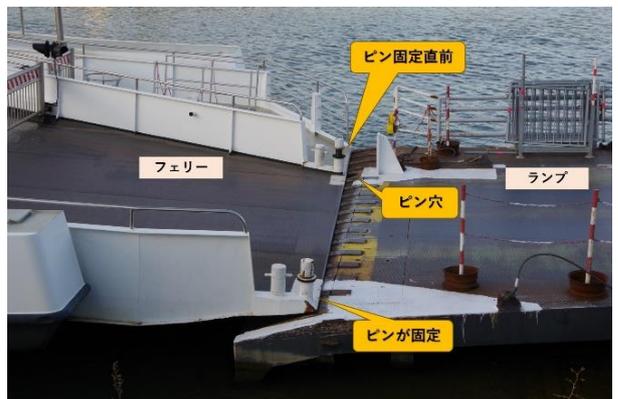
カウプ・フェリー「PFALZGRAFENSTEIN」 左の写真の背景はプファルツ城 兩岸に道路と鉄道がある



ビンゲン・リュースハイム・フェリー「MARY ROOS」(左)と「RHEINTAL」(右&右写真)
ビンゲン〜リュースハイム 徒歩客1人2.5ユーロ



コブレンツの渡船「SHÄNGEL」右奥に橋有



ビンゲン・リュースハイム・フェリーの係船の仕掛け

5. 貨物船

もちろん、これが川の主役だが色々なタイプの貨物船が行き来しており、日本では見られない光景に、これにもシップウォッチングを楽しんだ。



セルガイド付コンテナ船「MISSOURI」
ザンクトゴアにて



2両連結の貨物船「ROVI」と「GODSBURG」
ローレイの崖の上（公園）にて



2両連結の貨物船「DON ZIMMANI」
カウプ付近にて



タンカー「SYNTHESE-16」
ザンクトゴアにて



タンカー「STOLT FILIA」
リュエデスハイムにて



タンカー（船名不明） リュエデスハイムにて



貨物船「AQUAPOLIS」 ローレイ付近にて